



▲講演を行う木村さん

子育てについて学び、語り合う

くまもと子育てトーク

5月13日、「第28回くまもと子育てトーク」が天草市民センター大会議室で開かれ、約170人が参加しました。これは、同トーク実行委員会が開催したものです。熊本放送アナウンサーで、1歳5カ月の男の子の父親でもある木村和也さんが、「キムカズの子育ていちばん」と題して基調講演を行い、子どもが誕生したときの喜びや、子育てに関して「あせらず、ゆっくり、まっすぐ向き合うこと」などと話され、来場者は熱心に聞き入っていました。

また、木村さんのほか中九州短大非常勤講師の福島ヒサ子さん（八代市）、子育てネットワークわ・わ・わ（話・和・輪）代表の澤田福美さん（天草市）をアドバイザーに迎えて、子育てに関する話し合い「本音でしゃべろう」も行われました。

家族で楽しく化石採集！

ゴールデンウィーク化石教室

4月28日から5月6日にかけて、御所浦白亜紀資料館で「ゴールデンウィーク化石教室」が開かれました。これは同館が、化石に対する興味を深めてもらおうと毎年実施しているもの。期間中は、県内外をはじめ遠くは海外から家族連れなど1,070人が参加。参加者は、市学芸員やボランティアガイドの案内を受けながら、同館内の見学やトリゴニア砂岩化石採集場で化石採集を体験し、「化石にとっても興味がわきました」と笑顔で話していました。



▲ボランティアガイドから化石の説明を受ける参加者

今にも踊りだしそうなハイヤ娘たち

牛深ハイヤ娘のかかしを製作

牛深町の加世浦地区の住民15人が4月17日、牛深ハイヤ娘のかかし3体を製作しました。これは、今年の牛深ハイヤ祭りにあわせて、祭りを盛り上げようと取り組んだもの。牛深ハイヤ保存会からアドバイスを受けてポーズを決めたほか、色鮮やかな着物に身を包み顔には化粧が施されるなど、本格的な仕上がりになっています。

住民たちは、「少しずつ数を増やして、まちをにぎわせていきたい」と話していました。なお、このかかしは現在、牛深総合センターのロビーに展示されています。



▲かかしを製作する住民たち

きらきらと輝くチリメン

栖本町特産のチリメン漁

栖本漁港の沖合いでは、春と秋の時期に特産のチリメン（イワシの稚魚）漁が行われています。5月10日には、栖本町でチリメンの加工・販売を営む倉本武さんが、漁を終えてとれたてのチリメンを水揚げ。きらきらと輝くチリメンは、その後すぐに加工場へ運ばれ、水洗い、釜揚げの行程をへて天日干しにされていました。

また、加工場で直売されている出始めのチリメンを求めて、町内外から買い物客が訪れていました。



▲釜揚げされたチリメン

ジャガイモがいっぱい！

ジャガジャガ祭

4月29日、天草町大江のお万ヶ池公園を主会場に「第13回ジャガジャガ祭」が開かれ、市内外から約4,000人が来場しました。メインのジャガイモ掘り取り体験には、300組・約700人が参加しにぎわいを見せたほか、呼び物のひとつであるいかだレースでは、22チームが出場し白熱したレースを繰り広げていました。

また、バザーコーナーでは特産のジャガイモを使ったコロケの販売があり、用意された1,600個があっという間に売り切れるなど、大盛況でした。



▲バケツいっぱいジャガイモを詰める参加者

キャプテン海道くんがやってきた！

苓陽幼稚園お誕生会

4月25日、倉岳町の苓陽幼稚園でお誕生会が開かれ、サプライズゲストとして天草海道フェスタのマスコットキャラクター「キャプテン海道くん」が来園しました。園児たちは、思わぬ来訪者に大感激。海道くん「好きな食べ物や飲み物は何ですか」「好きな歌は何ですか」などいろいろな質問をしたり、いっしょに歌を歌ったりしながら、楽しいひとときを過ごしていました。また、海道くんが園児1人ひとりに特製の名刺を配布し、園児たちは笑顔で受け取っていました。



▲「海道くん質問がある人〜?」「はい!」